

そのまま？ たとえ？ 見分けプリント①

小学生・○をぬって、意味を箱からえらぶ

なまえ _____

ひづけ _____

- ・「そのまま」は 字の とおりの 意味、「たとえ」は 慣用句の 意味です。
- ・たとえの意味で つかって いる ほうの 文(アか イ)の 右の ○をぬろう。
- ・その 意味を、下の 意味の 箱(あ～こ)から えらんで(使わない 意味も あります)、あ～この きごうを 書こう。

れい ア ストーブで 手を やいて しまった。／イ 弟の いたずらに 手を やいた。

→ イの ○をぬる たとえの意味＝あつかいに こまる(きごうは箱から さがして 書く)

- (1) ア キのうの しごとは 骨が 折れた。 ☐
- イ ころんで うでの 骨が 折れた。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (2) ア あつい おゆに 水を さして、ぬるく した。 ☐
- イ もり上がって いた ところに 水を さした。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (3) ア この 店は 台所用の 油を 売って いる。 ☐
- イ おつかいの 帰りに 油を 売って いた。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (4) ア 兄が 一位に なって、鼻が 高い。 ☐
- イ あの 人形は、とても 鼻が 高い。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (5) ア 宿題を わすれた ことを 言われ、耳が いたい。 ☐
- イ 大きな 音を 聞きすぎて、耳が いたい。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (6) ア ごみを 川の 水に ながして しまった。 ☐
- イ キのうの けんかは 水に ながした。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (7) ア 自分の ことは たなに 上げて、人を 注意した。 ☐
- イ つかわない 本を、高い たなに 上げた。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (8) ア 音楽に 合わせて、リズムよく 手を 打った。 ☐
- イ 台風が 来る 日に そなえて 手を 打った。 ☐
- たとえの意味の きごう

意味の箱(あ～こ)

あ ほこらしく 思って 自まんに 感じる

う 自分の 失敗を 見ない ふりを する

お 前もって 対さくを 立てる

き はずかしくて 顔が 赤く なる

け すぎた いやな ことを なかった ことに する

い おどろいて 目を 大きく 見ひらく

え とても たいへんで 苦勞する

か 自分の 悪い ところを 言われて つらい

く うまく いって いる ことを じゃまする

こ しごとの とちゅうで おだ話を する



そのまま？ たとえ？ 見分けプリント②

小学生・〇をぬって、意味を自分で書く

なまえ _____

ひづけ _____

- ・「そのまま」は 字の とおりの 意味、「たとえ」は 慣用句の 意味です。
- ・たとえの意味で つかっている ほうの 文(アか イ)の 右の 〇をぬろう。
- ・その 意味を、自分の ことばで 線の 上に 1行で 書こう。

れい ア ストーブで 手を やいて しまった。／イ 弟の いたずらに 手を やいた。
→ イの 〇をぬる たとえの意味=あつかいに こまる

- (1) ア まどから 顔を 出して 外を 見た。 ☐
- イ 友だちの たんじょう会に 顔を 出した。 ☐

たとえの意味 _____

- (2) ア ねつが 出て、氷で 頭を 冷やした。 ☐
- イ おこって 歩いて 頭を 冷やした。 ☐

たとえの意味 _____

- (3) ア 兄の 失敗に 目を つぶった。 ☐
- イ まぶしくて 目を つぶった。 ☐

たとえの意味 _____

- (4) ア ボールが ^{むね}胸を 打って、いたかった。 ☐
- イ 先生の 言葉が 強く ^{むね}胸を 打った。 ☐

たとえの意味 _____

- (5) ア ようやく 司会が 板に ついて きた。 ☐
- イ ペンキが 板に ついて、手が よごれた。 ☐

たとえの意味 _____

- (6) ア 強い 上級生には 歯が 立たない。 ☐
- イ かたい せんべいに 歯が 立たない。 ☐

たとえの意味 _____

- (7) ア めがねを 鼻に かけて 本を 読んだ。 ☐
- イ テストの 点を 鼻に かけて いばった。 ☐

たとえの意味 _____

- (8) ア どろぼうが 足を ^{あら}洗って まじめに なった。 ☐
- イ 川で どろだらけの 足を ^{あら}洗った。 ☐

たとえの意味 _____



そのまま？ たとえ？ 見分けプリント③

小学生・2つの 文の 意味を それぞれ 書く

なまえ _____

ひづけ _____

- ・ア・イの 2つの 文の 意味を、それぞれ 線の 上に 1行で 書こう。
- ・字の とおりの 文は 何が 起きたかを、たとえの 文は 慣用句の 意味を 書く。

れい ア ストーブで 手を やいた。→ 手に やけどを した イ 弟の いたずらに 手を やいた。→ あつかいに こまる

- (1) ア ナイフで うっかり 手を 切った。

アの 意味 _____

イ 悪い 友だちとは もう 手を 切る。

イの 意味 _____

- (2) ア 買いすぎて 予算より 足が 出た。

アの 意味 _____

イ ふとんが 小さくて 足が 出た。

イの 意味 _____

- (3) ア かがみの 前で 服の ^{えり}襟を 正した。

アの 意味 _____

イ 失敗を 反省して ^{えり}襟を 正した。

イの 意味 _____

- (4) ア ねこの ^{ひたい}額を そっと なでた。

アの 意味 _____

イ うちの 庭は ^{ねこ}猫の ^{ひたい}額 ほどしか ない。

イの 意味 _____

- (5) ア あの 二人は 水と 油の ようだ。

アの 意味 _____

イ 水と 油を びんに 入れて まぜた。

イの 意味 _____

- (6) ア 友だちの なやみに ^せ背を 向けては いけない。

アの 意味 _____

イ かべの ほうに ^せ背を 向けて すわって いる。

イの 意味 _____

- (7) ア なっとうが ねばって 糸を 引く。

アの 意味 _____

イ かげで 糸を 引く 人が いる。

イの 意味 _____

- (8) ア しかられて ^{あおな}青菜に 塩の ようだ。

アの 意味 _____

イ ^{あおな}青菜に 塩を ふって しばらく おく。

イの 意味 _____



そのまま？ たとえ？ 見分けプリント④

小学生・3つの 文から ちがう 1つを 見つける

なまえ _____

ひづけ _____

- ・「そのまま」は 字の とおりの 意味、「たとえ」は 慣用句の 意味です。
- ・3つの 文の うち、ほかの 2つと つかい方が ちがう 文を 1つ えらんで、右の ○を ぬろう。
- ・ほかの 2つが「そのまま」か「たとえ」か、あてはまる ほうを ○で かこもう。

れい ア ストーブで 手を やいた。 イ 弟の いたずらに 手を やいた。 ウ 兄の わるさに 手を やいた。
→ ちがう 文は ア (○を ぬる)。ほかの 2つは たとえ (○で かこむ)。

- (1) ア 先生が テスト中 目を 光らせて いる。 ☐
- イ ねこが 暗やみで 目を 光らせた。 ☐
- ウ 町の 人が 悪人に 目を 光らせる。 ☐
- ほかの 2つの 文は
- (2) ア 朝飯前に 犬と さんぽした。 ☐
- イ 池の まわりを 朝飯前に 走った。 ☐
- ウ こんな 計算は 朝飯前だ。 ☐
- ほかの 2つの 文は
- (3) ア 悪い 点を とり 親の 顔に ^{どろ}泥を ^ぬ塗った。 ☐
- イ ふざけて 友だちの 顔に ^{どろ}泥を ^ぬ塗った。 ☐
- ウ ^{どろ}あそびで 弟の 顔に ^ぬ泥を ^ぬ塗った。 ☐
- ほかの 2つの 文は
- (4) ア あの 人は 口が かたいから 安心だ。 ☐
- イ 口が かたい 兄に そうだんした。 ☐
- ウ びんの 口が かたくて あかない。 ☐
- ほかの 2つの 文は
- (5) ア プロの 選手と ^{かた}肩を ^{なら}並べる 実力だ。 ☐
- イ 算数では 上級生と ^{かた}肩を ^{なら}並べる 力がある。 ☐
- ウ 放課後 友だちと ^{かた}肩を ^{なら}並べて 歩いた。 ☐
- ほかの 2つの 文は
- (6) ア 行進で 全員が ^{なら}足並みを そろえた。 ☐
- イ 意見を出し合って ^{なら}足並みを そろえた。 ☐
- ウ 兵隊が ^{なら}足並みを そろえて 行進した。 ☐
- ほかの 2つの 文は
- (7) ア ぬかるみに はまった 弟の 足を 引っ張った。 ☐
- イ ミスをして チームの 足を 引っ張った。 ☐
- ウ 自分勝手な 行動で 仲間の 足を 引っ張るな。 ☐
- ほかの 2つの 文は
- (8) ア ころんで 口を 切って 血が 出た。 ☐
- イ 話し合いで 先に 口を 切った。 ☐
- ウ ガラスで 口を 切った。 ☐
- ほかの 2つの 文は



そのまま？ たとえ？ 見分けプリント⑤

小学生・文章から たとえの 文を めき出す

なまえ _____

ひづけ _____

- ・下の 文章の 中に、同じ 言い方が 2回 出て きます。
- ・慣用句の 意味(たとえ)で つかって いる ほうの 文を さがそう。
- ・その 文を、そのまま 線の 上に 書き写そう(空きや 漢字の ちがいは 気にしない)。

れい ゆうとは ストープで 手を やいた。弟の いたずらにも 手を やいた。

→ たとえの 文 = 「弟の いたずらにも 手を やいた。」

- (1) ゆうきの 日記です。 百円の ぼきんでは 焼^やけ石に 水だった。 焼^やけ石に 水を かけると、湯気が 出た。

たとえの 文 _____

- (2) さくらの 日記です。 ころんで ひざを 強く 打った。 「なるほど」と 思わず ひざを 打った。

たとえの 文 _____

- (3) れんの 日記です。 せなかに 手を 回して かいた。 うらで 手を 回して 話を まとめた。

たとえの 文 _____

- (4) みおの 日記です。 お客の 足元を 見て 高く 売った。 足元を 見て ゆっくり 歩いた。

たとえの 文 _____

- (5) そらの 日記です。 ぶつけて 目の上の たんこぶを 冷やした。 あの 兄は ぼくの 目の上の たんこぶだった。

たとえの 文 _____

- (6) あおいの 日記です。 人の けんかに 首を つっこんだ。 ねこが 箱に 首を つっこんだ。

たとえの 文 _____

- (7) はるの 日記です。 この 千円は ぼくの 虎^{とら}の子だった。 動物園で 虎^{とら}の子が 生まれた。

たとえの 文 _____

- (8) かいの 日記です。 手品師が 手のひらを 返して 見せた。 勝つと、みんな 手のひらを 返した。

たとえの 文 _____



そのまま？ たとえ？ 見分けプリント①【こたえ】

小学生・〇をぬって、意味を箱からえらぶ

なまえ

ひづけ

〇のつけ方

意味のきごうが箱の意味と合っていれば〇。

〇をぬったほうは、ア4つ・イ4つになっている。数が合わないときは見なおす。

小さい字は見分ける手がかりの言葉（場しよ・道具・相手・げんいん）です。

箱の意味のうち2つはどの問題にも使いません。

- | | | | |
|-----|---|-------------------|----------------------------------|
| (1) | ア き <u>の</u> うの しごとは ^{ほね} 骨が折れた。 | たとえ：「きのうの しごと」 | ☒ |
| | イ <u>ころ</u> んで うでの ^{ほね} 骨が折れた。 | 字の とおり：「ころんで」 | ☐ |
| | たとえの意味のきごう え とてもたいへんで苦勞する | | |
| (2) | ア あつい おゆに 水を さして、ぬるく した。 | 字の とおり：「あつい おゆに」 | ☐ |
| | イ もり上がって いた ところに 水を さした。 | たとえ：「もり上がって いた」 | ☒ |
| | たとえの意味のきごう く うまくいっていることをじゃまする | | |
| (3) | ア この 店は 台所用の 油を 売って いる。 | 字の とおり：「台所用の」 | ☐ |
| | イ おつかいの 帰りに 油を 売って いた。 | たとえ：「おつかいの 帰り」 | ☒ |
| | たとえの意味のきごう こ しごとのとちゅうでむだ話をする | | |
| (4) | ア 兄が 一位に なって、鼻が 高い。 | たとえ：「一位に なって」 | ☒ |
| | イ あの 人形は、とても 鼻が 高い。 | 字の とおり：「人形は」 | ☐ |
| | たとえの意味のきごう あ ほこらしく思って自まんに感じる | | |
| (5) | ア 宿題を わすれた ことを 言われ、耳が いたい。 | たとえ：「宿題を わすれた」 | ☒ |
| | イ 大きな 音を 聞きすぎて、耳が いたい。 | 字の とおり：「大きな 音を」 | ☐ |
| | たとえの意味のきごう か 自分の悪いところを言われてつらい | | |
| (6) | ア ごみを 川の 水に ながして しまった。 | 字の とおり：「ごみを 川の」 | ☐ |
| | イ き <u>の</u> うの けんかは 水に ながした。 | たとえ：「けんかは」 | ☒ |
| | たとえの意味のきごう け すぎたいやなことをなかったことにする | | |
| (7) | ア 自分の ことは たなに 上げて、人を 注意した。 | たとえ：「自分の ことは」 | ☒ |
| | イ つかわない 本を、高い たなに 上げた。 | 字の とおり：「つかわない 本を」 | ☐ |
| | たとえの意味のきごう う 自分の失敗を見ないふりをする | | |
| (8) | ア 音楽に 合わせて、リズムよく 手を 打った。 | 字の とおり：「音楽に 合わせて」 | ☐ |
| | イ 台風が 来る 日に そなえて 手を 打った。 | たとえ：「台風が 来る 日に」 | ☒ |
| | たとえの意味のきごう お 前もって対さくを立てる | | |

意味の箱（あ〜こ）

あ ほこらしく思って自まんに感じる

う 自分の失敗を見ないふりをする

お 前もって対さくを立てる

き はずかしくて顔が赤くなる

け すぎたいやなことをなかったことにする

い おどろいて目を大きく見ひらく

え とてもたいへんで苦勞する

か 自分の悪いところを言われてつらい

く うまくいっていることをじゃまする

こ しごとのとちゅうでむだ話をする

そのまま？ たとえ？ 見分けプリント②【こたえ】

なまえ

小学生・〇をぬって、意味を自分で書く

ひづけ

〇のつけ方

こたえはいちれいです。かなめの言葉か、同じ意味の言い方が入っていれば、言い方がちがっても〇。
かなめの言葉はひらがなで書いていても〇。ほかに〇にしてよい言い方も、1問ずつ右にのせています。
□ たとえの文の〇をぬれた □ かなめの言葉が入っている □ 字のとおりの意味になっていない
〇をぬったほうは、ア4つ・イ4つ。小さい字は見分ける手がかりの言葉です。
まちがえたときは、2つの文の手がかり(場しょ・道具・相手)をならべてたしかめよう。

- | | | | |
|--------|--|--------------------|----------------------------------|
| (1) | ア まどから 顔を 出して 外を 見た。 | 字の とおり：「まどから」 | ☐ |
| | イ 友だちの たんじょう会に 顔を 出した。 | たとえ：「たんじょう会に」 | ☒ |
| たとえの意味 | | ちょっとだけ 行って 参加する | かなめ：参加 ほかにも 〇：行く・おとずれる |
| (2) | ア ねつが 出て、氷で 頭を 冷やした。 | 字の とおり：「氷で」 | ☐ |
| | イ おこって 歩いて 頭を 冷やした。 | たとえ：「おこって」 | ☒ |
| たとえの意味 | | 気持ちを しずめて 冷静に なる | かなめ：冷静 ほかにも 〇：おちつく・れいせい(冷静) |
| (3) | ア 兄の 失敗に 目を つぶった。 | たとえ：「失敗に」 | ☒ |
| | イ まぶしくて 目を つぶった。 | 字の とおり：「まぶしくて」 | ☐ |
| たとえの意味 | | 見ても 見ない ふりを して ゆるす | かなめ：ゆるす ほかにも 〇：見のがす・とがめない |
| (4) | ア ボールが ^{むね} 胸を 打って、いたかった。 | 字の とおり：「ボールが」 | ☐ |
| | イ 先生の 言葉が 強く ^{むね} 胸を 打った。 | たとえ：「先生の 言葉が」 | ☒ |
| たとえの意味 | | 強く 感動させる | かなめ：感動 ほかにも 〇：心を動かす・かんげきさせる |
| (5) | ア ようやく 司会が 板に ついて きた。 | たとえ：「司会が」 | ☒ |
| | イ ペンキが 板に ついて、手が よごれた。 | 字の とおり：「ペンキが」 | ☐ |
| たとえの意味 | | なれて ぴったり 合う | かなめ：ぴったり ほかにも 〇：なれてきた・にあう |
| (6) | ア 強い 上級生には 歯が 立たない。 | たとえ：「上級生には」 | ☒ |
| | イ かたい せんべいに 歯が 立たない。 | 字の とおり：「せんべいに」 | ☐ |
| たとえの意味 | | 相手が 強くて かなわない | かなめ：かなわない ほかにも 〇：勝てない・とてもかなわない |
| (7) | ア めがねを 鼻に かけて 本を 読んだ。 | 字の とおり：「めがねを」 | ☐ |
| | イ テストの 点を 鼻に かけて いばった。 | たとえ：「点を」 | ☒ |
| たとえの意味 | | 自まんして 得意に なる | かなめ：得意 ほかにも 〇：じまんする・いばる |
| (8) | ア どろぼうが 足を ^{あら} 洗って まじめに なった。 | たとえ：「どろぼうが」 | ☒ |
| | イ 川で どろだらけの 足を ^{あら} 洗った。 | 字の とおり：「川で」 | ☐ |
| たとえの意味 | | 悪い 仲間から ぬける | かなめ：悪い仲間 ほかにも 〇：悪い ことを やめる・縁を切る |

そのまま？ たとえ？ 見分けプリント③【こたえ】

なまえ

小学生・2つの 文の 意味を それぞれ 書く

ひづけ

○の つけ方

こたえは いちれいです。字の とおりの 文は 起きた ことが、たとえの 文は かなめの 言葉か 同じ 意味が あれば ○。
かなめの 言葉は ひらがなで 書いて いても ○。ほかに ○に して よい 言い方も、問題ごとに 右に のせて います。
□ 字の とおりの 文を 「たとえ」の 意味で 書いて いない □ たとえの 文を 起きた ことだけで 書いて いない
小さい 字は 見分ける 手がかりの 言葉です。まちがえた ときは、2つの 文の 手がかりを ならべて たしかめよう。

- (1) ア ナイフで うっかり 手を 切った。 字の とおり：「ナイフで」
アの 意味 ナイフで 手に けがを した
イ 悪い 友だちとは もう 手を 切る。 たとえ：「悪い 友だちとは」
イの 意味 今までの 関係を やめる かなめ：関係 ほかにも ○：縁を切る・つながりを たつ
- (2) ア 買いすぎて 予算より 足が 出た。 たとえ：「予算より」
アの 意味 お金が 予算より 多く かかる かなめ：予算 ほかにも ○：お金が たりない・赤字になる
イ ふとんが 小さくて 足が 出た。 字の とおり：「ふとんが」
イの 意味 ふとんから 足が はみ出した
- (3) ア かがみの 前で 服の ^{えり}襟を 正した。 字の とおり：「かがみの 前で」
アの 意味 服の えりを まっすぐに 直した
イ 失敗を 反省して 襟を 正した。 たとえ：「失敗を」
イの 意味 気持ちを 引きしめて まじめに なる かなめ：引きしめ ほかにも ○：気を 引きしめる・まじめになる
- (4) ア ねこの ^{ひたい}額を そっと なでた。 字の とおり：「なでた」
アの 意味 ねこの おでこを なでた
イ うちの 庭は 猫の ^{ねこ}^{ひたい}額 ほどしか ない。 たとえ：「庭は」
イの 意味 場しよが とても せまい かなめ：せまい ほかにも ○：とても せまい・ちいさい
- (5) ア あの 二人は 水と 油の ようだ。 たとえ：「二人は」
アの 意味 仲が 悪くて 合わない かなめ：仲が悪 ほかにも ○：まざらない・仲が よくない
イ 水と 油を びんに 入れて まぜた。 字の とおり：「びんに 入れて」
イの 意味 水と 油を びんに 入れた
- (6) ア 友だちの なやみに 背を 向けては いけない。 たとえ：「なやみに」
アの 意味 関心を もたず 協力 しない かなめ：協力 ほかにも ○：知らんぷりを する・おしする
イ かべの ほうに ^せ背を 向けて すわって いる。 字の とおり：「かべの ほうに」
イの 意味 せなかを かべの ほうへ 向けて いる
- (7) ア なっとうが ねばって 糸を 引く。 字の とおり：「なっとうが」
アの 意味 なっとうが ねばねばの 糸を 引く
イ かげで 糸を 引く 人が いる。 たとえ：「かげで」
イの 意味 うらから 人を あやつる かなめ：あやつる ほかにも ○：かげで 動かす・うらで 人を 動かす
- (8) ア しかられて 青菜に 塩の ようだ。 たとえ：「しかられて」
アの 意味 元気が なくなって しょんぼりする かなめ：元気 ほかにも ○：しょんぼりする・元気が ない
イ ^{あおな}青菜に 塩を ふって しばらく おく。 字の とおり：「塩を ふって」
イの 意味 ^{あおな}青菜に 塩を かけて おいた

そのまま？ たとえ？ 見分けプリント④【こたえ】

なまえ

小学生・3つの 文から ちがう 1つを 見つける

ひづけ

○の つけ方

ちがう 文の ○を めれて、ほかの 2つの 使い方（そのまま／たとえ）を ○で かこめて いれば ○。
ちがう 文は ア2つ・イ3つ・ウ3つ。小さい 字は 見分ける 手がかりの 言葉です。
まちがえた ときは、3つの 文の 手がかりを 一つずつ ならべて たしかめよう。

(1) ア 先生が テスト中 目を 光らせて いる。

たとえ：「テスト中」

イ ネコが 暗やみで 目を 光らせた。

字の とおり：「暗やみで」

ウ 町の 人が 悪人に 目を 光らせる。

たとえ：「悪人に」

ほかの 2つの 文は

そのまま

たとえ

たとえの 意味＝きびしく 見張る

(2) ア 朝飯前に 犬と さんぼした。

字の とおり：「さんぼした」

イ 池の まわりを 朝飯前に 走った。

字の とおり：「池の まわりを」

ウ こんな 計算は 朝飯前だ。

たとえ：「計算は」

ほかの 2つの 文は

そのまま

たとえ

たとえの 意味＝とても かんたんに できる

(3) ア 悪い 点を とり 親の 顔に ^{どろ}泥を ^ぬ塗った。

たとえ：「悪い 点を」

イ ふざけて 友だちの 顔に ^{どろ}泥を ^ぬ塗った。

字の とおり：「ふざけて」

ウ ^{どろ}どろあそびで 弟の 顔に ^ぬ泥を ^ぬ塗った。

字の とおり：「どろあそびで」

ほかの 2つの 文は

そのまま

たとえ

たとえの 意味＝はじを かかせる

(4) ア あの 人は 口が かたいから 安心だ。

たとえ：「人は」

イ 口が かたい 兄に そうだんした。

たとえ：「兄に」

ウ びんの 口が かたくて あかない。

字の とおり：「びんの」

ほかの 2つの 文は

そのまま

たとえ

たとえの 意味＝ひみつを しっかり 守る

(5) ア プロの 選手と ^{かた}肩を ^{なら}並べる 実力だ。

たとえ：「選手と」

イ 算数では 上級生と ^{かた}肩を ^{なら}並べる 力がある。

たとえ：「算数では」

ウ 放課後 友だちと ^{かた}肩を ^{なら}並べて 歩いた。

字の とおり：「歩いた」

ほかの 2つの 文は

そのまま

たとえ

たとえの 意味＝力が 同じくらいに なる

(6) ア 行進で 全員が ^{なら}足並みを ^{なら}そろえた。

字の とおり：「行進で」

イ 意見を出し合って ^{なら}足並みを ^{なら}そろえた。

たとえ：「意見を」

ウ 兵隊が ^{なら}足並みを ^{なら}そろえて 行進した。

字の とおり：「兵隊が」

ほかの 2つの 文は

そのまま

たとえ

たとえの 意味＝みんなで 考えや 行動を 合わせる

(7) ア ぬかるみに はまった 弟の 足を 引っ張った。

字の とおり：「ぬかるみに はまった」

イ ミスをして チームの 足を 引っ張った。

たとえ：「チームの」

ウ 自分勝手な 行動で 仲間の 足を 引っ張るな。

たとえ：「行動で」

ほかの 2つの 文は

そのまま

たとえ

たとえの 意味＝仲間の じゃまを する

(8) ア ころんで 口を 切って 血が出た。

字の とおり：「ころんで」

イ 話し合いで 先に 口を 切った。

たとえ：「話し合いで」

ウ ガラスで 口を 切った。

字の とおり：「ガラスで」

ほかの 2つの 文は

そのまま

たとえ

たとえの 意味＝最初に 話しはじめる

そのまま？ たとえ？ 見分けプリント⑤【こたえ】

小学生・文章から たとえの 文を めき出す

なまえ

ひづけ

○の つけ方

こたえは 文を そのまま 書き写して いれば ○。ほかの 文を 書いて いたら ×。

ことばの 間の あきや、漢字と ひらがなの ちがいは、気に しなくて よい。

□ たとえの 文を えらべた □ 文を おちなく 書き写せた

まちがえた ときは、2つの 文の 手がかり（場しよ・道具・相手）を ならべて たしかめよう。

- (1) ゆうきの 日記です。 百円の ぼきんでは 焼^やけ石に 水だった。 焼^やけ石に 水を かけると、湯気が 出た。

たとえの 文

百円の ぼきんでは 焼^やけ石に 水だった。

「焼^やけ石に水」=少しの 助けでは 効果が ない

- (2) さくらの 日記です。 ころんで ひざを 強く 打った。 「なるほど」と 思わず ひざを 打った。

たとえの 文

「なるほど」と 思わず ひざを 打った。

ひざ
「膝^{ひざ}を打つ」=なるほどと 感心する

- (3) れんの 日記です。 せなかに 手を 回して かいた。 うらで 手を 回して 話を まとめた。

たとえの 文

うらで 手を 回して 話を まとめた。

「手を回す」=前もって 準備する

- (4) みおの 日記です。 お客の 足元を 見て 高く 売った。 足元を 見て ゆっくり 歩いた。

たとえの 文

お客の 足元を 見て 高く 売った。

「足元を見る」=相手の 弱みに つけこむ

- (5) そらの 日記です。 ぶつけて 目の上の たんこぶを 冷やした。 あの 兄は ぼくの 目の上の たんこぶだった。

たとえの 文

あの 兄は ぼくの 目の上の たんこぶだった。

「目の上のたんこぶ」=じゃまで うっとうしい 人

- (6) あおいの 日記です。 人の けんかに 首を つっこんだ。 ねこが 箱に 首を つっこんだ。

たとえの 文

人の けんかに 首を つっこんだ。

「首をつっこむ」=関係の ない ことに かかわる

- (7) はるの 日記です。 この 千円は ぼくの 虎^{とら}の子だった。 動物園で 虎^{とら}の子が 生まれた。

たとえの 文

この 千円は ぼくの 虎^{とら}の子だった。

とら
「虎の子」=大切に して 手ばなさない もの

- (8) かいの 日記です。 手品師が 手のひらを 返して 見せた。 勝つと、みんな 手のひらを 返した。

たとえの 文

勝つと、みんな 手のひらを 返した。

「手のひらを返す」=急に 態度が 変わる